

デンカヒコフォーム

製品コンクリート用急硬性セメント混和材



デンカビフォームとは

《デンカビフォーム》とは、プラントで練混ぜ可能で、蒸気養生を必要としない新タイプの製品用急硬性混和材です。また、湿式建材等の硬化促進材としても有効です。

1 特 長

- ① 冬場の寒冷期でも通常期と同等の材齢1日強度が得られます。
- ② プラントで急硬コンクリートが練混ぜできます。
(ハンドリングタイムは必要に応じて調節できます)
- ③ 生コンプラントでの練混ぜも可能ですので、現場打ち製品への適用も可能です。
- ④ 作業性は普通セメントと同等でポンプ打設が可能です。
- ⑤ 湿式建材の硬化促進材として使用できます。
- ⑥ 超高流動コンクリートへの適用も可能です。

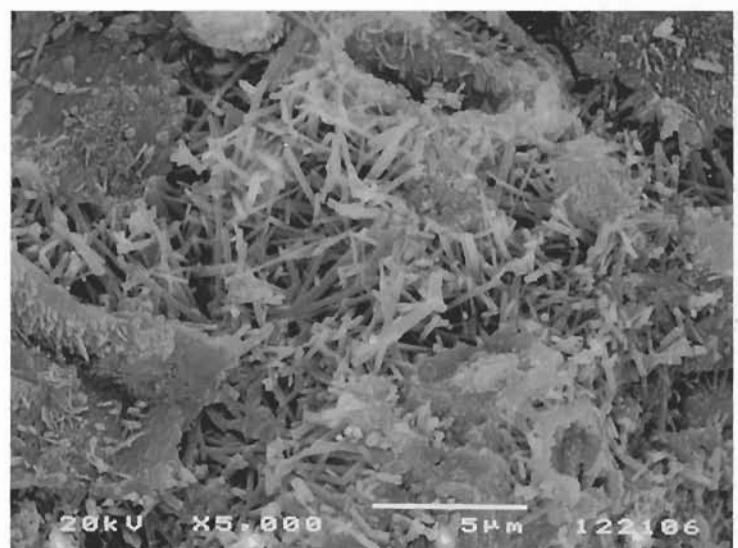
2 一般的性質

外観：灰白色粉末

比重：2.87～2.93

荷姿：紙袋（20kg／袋）

〈デンカビフォーム添加コンクリートの水和物〉



3 使用方法

● 添加量

標準添加量はセメントに対して15～25%（内割）です。

● 添加方法

プラントでミキサに直接細骨材と同時に投入してください。

● 作業性（ハンドリング）

《デンカビフォーム》は混和材のため、使用するセメント等材料の違いによりハンドリングタイムが変動します。試験練りを行いハンドリングタイムが短い場合には、専用セッターを添加してください。また、硬化時間を短くしたい場合には、別途御相談ください。

● 混練り時間

コンクリートは普通コンクリートより1分程度長く練り混ぜてください。モルタルの場合には、材料が均一になるまで練り混ぜてください。

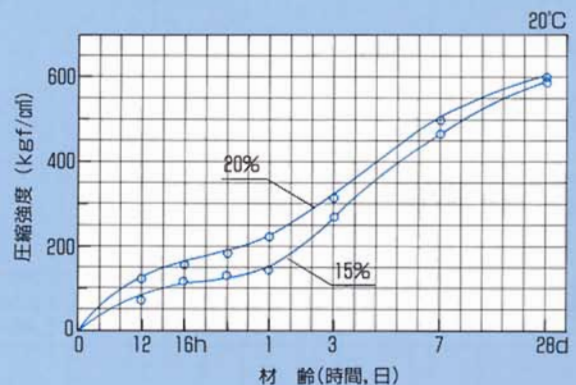
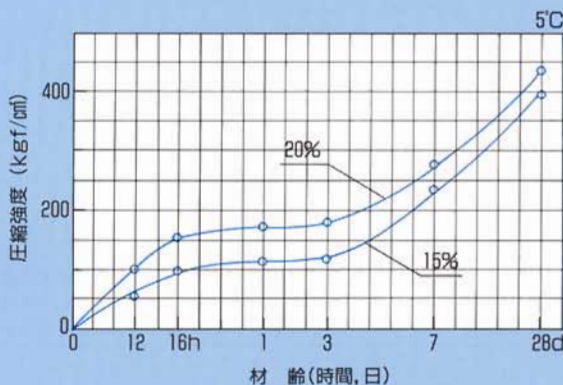
4 ビフォーム添加コンクリート物性の一例

強度発現性

コンクリート配合

No.	ビフォーム C×%	G max (mm)	s l (cm)	air (%)	W/C (%)	S/a (%)	単 位 量 (kg/m ³)					ダーレックスAEA
							W	C	ビフォーム	S	G	
1	15	20	8±2.5	4±1	35	40.0	140	340	60	724	1111	0.03%×(C+ビフォーム)
2	20	20	8±2.5	4±1	35	40.0	140	320	80	724	1111	0.03%×(C+ビフォーム)

材齢と圧縮強度の関係

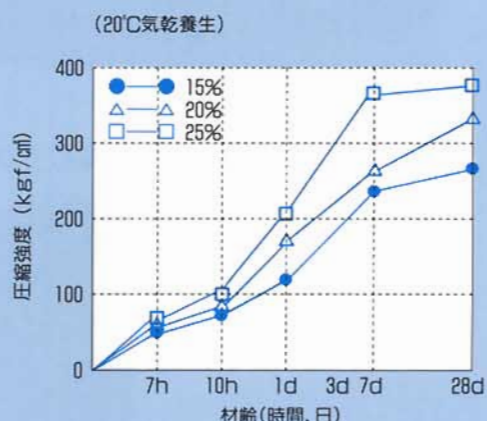
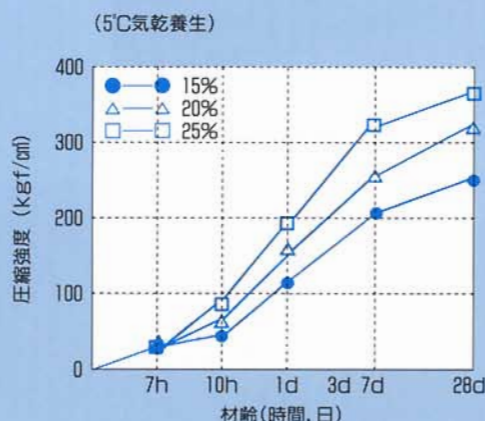


5 ビフォーム添加モルタル物性の一例

1/3モルタル、W/C45%、ビフォーム添加量 15、20、25%（対セメント、内割）

フロー値の経時変化（20℃）

No.	ビフォーム添加量 (%)	フロー値の経時変化 (mm) (分)						
		直後	30	60	90	120	150	180
1	15	210	207	199	195	192	182	173
2	20	200	199	198	195	193	186	176
3	25	199	199	198	196	194	190	183



6 使用上の注意

- 施工前に試験練りによりハンドリングタイム、強度物性などの確認を行ってください。
- 《ビフォームコンクリート》排出後、アジテータ車・ポンプ車は充分洗浄してください。
- 打込み、締め固め、コテ仕上げは、同時進行で行い、施工後は乾燥防止のためシート養生等を行ってください。
- セメントと同様アルカリ性の粉末ですので、万一目に入った場合は、大量の水で洗い流し医療機関で診断を受けてください。
- スラリーでの使用等の特殊な使い方に関しては、予め当社まで御相談ください。

7 用途例

現場打ちプレキャスト部材の製造に



現場打ちプレキャスト部材の製造に



湿式建材の硬化促進材として

